

令和6年3月23日

旭川トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 西川 弘二

お客様各位

封印受託業務に対する弊社の不適切な対応に関するお詫び

このたび、旭川トヨタ自動車株式会社の旭川ボデーサービスセンターにおいて、修理後の封印取付け業務において不適切な対応が判明いたしました。弊社としましては、今回の不正を重く受け止め、旭川運輸支局管内の封印取付けの受託業務を3月1日付で自主返納させていただきました。弊社をご利用いただいておりますお客様、並びに、取引先様、関係官公庁様の皆様の信頼を損なう事態になり、また、多大なるご心配とご迷惑をお掛けすることになりましたことを深くお詫び申し上げます。加えて、封印業務を受託している事業者として、国の業務をルール通り代行する責任ある立場にもかかわらず、このような事態を引き起こしましたことを、深く反省し、重ねてお詫び申し上げます。

現在、社内全拠点に対する調査を行い、全体像の実態と共に原因究明に取り組んでおります。先行調査で不適切な封印業務が判明した対象のお客様へは、弊社担当スタッフよりご連絡をさせていただき、改めて、旭川運輸支局様の指示に従い、正しい封印業務への対応をさせていただきます。また、このたびの封印業務の返納に伴う封印取扱い停止の期間中は、最寄りの自家用自動車協会の封印取付所および、旭川運輸支局様指定の封印取付所分室に車両を搬送し、封印を行った上で、お客様への新車納車や分解整備等のサービスマンテナンス業務に対応致します。お客様にはご不便やご迷惑をおかけすることとなり大変申し訳ございません。

今回の原因は、法令遵守の意識と知識、研修不足、社内業務監査体制の不備など、経営側の責任と認識しております。旭川トヨタの経営陣として事実を真摯に受け止め、コンプライアンス第一の経営が何故できていないのかの猛省を行い、お客様の信頼回復の為に、法令を遵守した正しい仕事を行う為の周知教育や業務プロセス課題の改善、定期的な全店舗社内監査の体制作りに取り組むのと並行して、お客様がこれからも旭川トヨタをご支持いただけるよう職場の風土や環境の改善など、全社一丸となって、様々な課題の解決にひとつひとつ取り組んで行くことを約束いたします。

記

【現在、判明の内容】

- 旭川ボデーサービスセンターにて、車両修理のためにリヤナンバープレートの封印冠を外す必要がある場合は、封印冠を壊し、再封印の際は新しい封印冠での封印が必要となりますが、封印冠を壊さずに再使用・取付けをしておりました。
- 不正の件数につきましては、現在、対象店舗と期間を拡げ調査中でございますが、旭川ボデーサービスセンターの令和4年12月1日から令和5年11月30日まで社内調査した結果では、85件の不正を確認しております。

【本件に関するお問い合わせ先】

常務取締役営業本部長 寺沢 和久 電話番号：0166-22-6111 営業時間：9時30分～17時50分